



連載 レッスンのお悩み、一緒に考えます！

聞いて！まるみえ先生

ほこあほこピアノ教室主宰 中西美江

今回のお悩みは…

「小学校高学年～中学生の レッスンカリキュラム」

お悩み内容

小学生高学年～中学生のレッスン内容が悩みです。楽典ワークと演奏のバランス、興味を継続させるための工夫など、先生はどうされていますか？
(H. T先生)

★曲の中で楽典もテクニックもまとめて レッスン

この年代の生徒さんは、学校生活やクラブ活動や塾などで忙しい毎日を送っていますので、レッスンでは単に曲を弾くだけではなく、その曲についての分析や調の音階練習・和音練習などをまとめてレッスンして、曲だけでも十分レッスンとして成立できる内容を組み立てるようにしています。

具体的には、曲に入る前に次の3つのことをお伝えします。

- ①弾き方のアドバイス(テクニック)
- ②大事なポイント(楽典)
- ③次につながること(関連曲などの紹介)

【それぞれの声掛け例】

①弾き方のアドバイス(テクニック)

- ・この部分をマスターするにはこういう部分練習をするといいよ
- ・こういう時は右手と左手と分けて弾くといいよ
- ・弾きやすい指番号を考えてみてね
- ・この部分だけリズム練習をしてみよう

②大事なポイント(楽典)

- ・この曲の調と和音は何調、何和音かな？

- ・ここで転調しているからそれぞれの調の音階と和音を答えてね
- ・この左手の伴奏形は何度かな？どこまで同じ形かな？
- ・この和音の流れ(コード進行)は何回繰り返されているかな？

③次につながること(関連曲などの紹介)

- ・こういう曲もあるから弾いてみるね
(と言って弾いて聴かせる)

★レッスン曲は生徒さんと一緒に選ぶ

また、必ずしていることは、レッスンする曲を生徒さんと一緒に選ぶことです。生徒さんからのリクエスト曲をレッスンすることもあれば、こちらから提案することもあります。

こちらから提案する時は、聴くと難しそうだけど楽譜を見ると意外と取り掛かりやすそうに感じる曲や、生徒さんが好きそうな曲を選ぶようにしています。

忙しい毎日を送っていてもレッスンへ通ってくれている生徒さんたちですので、「今までレッスンを継続できたからこそ、色々な曲が弾けるんだ」という確認作業が出来るようなレッスンにしたいなと思っています。

「この年代からこそ出来るアプローチ」として生徒さん方へお伝えしてみてください。遠回りに思えるアプローチでも、きっと興味を持って聞いてくれるのではないのでしょうか。

●中西美江(なかにし・みえ)プロフィール

奈良・新大宮ほこあほこピアノ教室主宰。生徒さんの目の前で書くレッスンをして30年。ポピュラー、ジャズなどを取り入れた独自のカリキュラムでレッスンを行う。

「マイピアノ楽譜」「教室運営法」「体験レッスン成功法」「続けることのできるレッスン法」をテーマに、各地で講座開催中。

中西美江の
まるみえピアノ
レッスン
ホームページ⇒



聞いて！
まるみえ先生
お悩み受付
フォーム⇒

